

外観



1991年に開設。入所、ショートステイ、通所リハビリテーション事業をおこなう介護保険施設。浜名湖からも近く、“はままつフラワーパーク”など公園施設を周辺に持つ風光明媚な地にある。

1F共用女性トイレ 入口



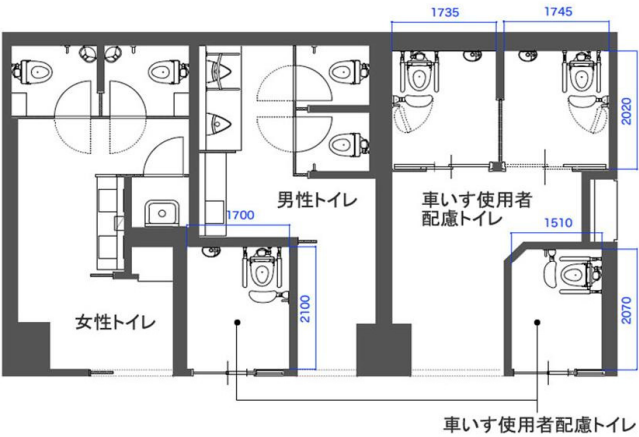
女性トイレの入口正面には、掘り込み式の飾り棚ニッチがあり、生花が飾られている。トイレは木目を基調とした明るく清々しい空間。

1F共用女性トイレ 洗面コーナー



2段のカウンターで荷物置き場を確保したツインデッキカウンターを採用。ボウル・カウンター・デッキ部の間に継ぎ目がなく、水じまいが良い壁付水栓をセット。使いやすさとともに、清掃性にも配慮した。

1F共用トイレ 図面



男女トイレと車いす使用者配慮トイレ。4つある車いす使用者配慮トイレは、利用者が使いやすい方を選べるよう配慮し、左右勝手違いで設置している。

1F共用女性トイレ 大便器ブース



環境に配慮し4.8L洗浄のパブリックリモデル便器を採用。お子様連れのご家族やお客様への配慮として、ベビーチェアを設置している。

1F共用男性トイレ 小便器コーナー



尿石付着やにおいの元となるアンモニアの発生を抑制し、かつ大幅な節水を実現する新型の自動洗浄小便器を採用。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。

1F共用車いす使用者配慮トイレ



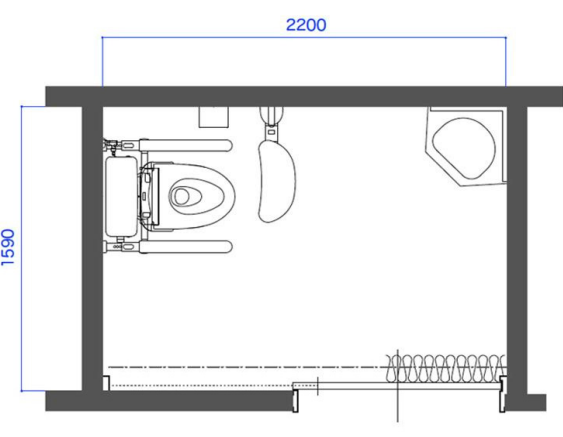
背もたれ付アームレストに加え、便器移乗時の動作・姿勢の安定を図り、転倒リスクや介助者の負担を軽減する前方ボード（スイングタイプ）を設置。前方ボードは、排せつしやすい前傾姿勢の保持もサポート。

療養室フロア共用トイレ 改修前



改修前はステンレス製のL型手すりと固定式の腰掛便器用手すりを設置。便器は一般的な便器より座面が50mm程度高いものが使われていた。

療養室フロア共用トイレ 図面



療養室フロアでは、隣接するトイレを左右勝手違いで設置しており、身体状況にあわせて使いやすいトイレを選んで使用できる。

療養室フロア共用トイレ 改修後



手洗器以外を更新。小柄な高齢者も足が床に届くような一般的な高さの便器を採用。前方ボード（スイングタイプ）は、座位の安定に加え、排せつを促す前傾姿勢を保ちやすいと介助スタッフから好評を博している。

建築概要

名	称	三方原（みかたばら）ベテルホーム
所	在	地 静岡県浜松市北区細江町中川7421-1
施	主	社会福祉法人聖隷福祉事業団
設	計	（改修）株式会社公共設計
施	工	（改修）菱和設備株式会社
竣	工	年 月 （改修）2016年6月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
三方原ベテルホームは、社会福祉法人聖隷福祉事業団が運営。入所、ショートステイ、通所リハビリテーション事業をおこなう介護保険施設である。1991年開設以来、20数十年以上が経過し老朽化が進んだため、外観、水まわりを含む設備の更新、改修工事を実施。外観には一部再塗装を施し、通路や共用部の照明はダウンライトやペンダント照明からLEDに変更。美しく明るい空間に生まれ変わった。療養フロアでは1フロアを南北で分け、半分ずつ工事を進行。施設運営を行いながら、改修を完了させた。

＜トイレの特長＞
施設内は車いす使用者が多いため、1F共用トイレでは車いす使用者配慮トイレを4ヶ所に増設。使用者が身体状況にあわせて使いやすい方を選べるように、左右勝手違いで設置している。また、1F車いす使用者配慮トイレおよび療養フロアの共用トイレには、背もたれ付アームレストに加え、前方ボード（スイングタイプ）を設置。便器移乗時の動作・姿勢の安定が図れ、転倒リスクや介助者の負担が軽減されるとともに、使用者が排せつを促す前傾姿勢を保ちやすいと、介助スタッフから好評を博している。大便器は、節水性が高く、異物の詰まりに備えて掃除口を搭載したパブリックコンパクト便器を採用している。療養室フロア共用トイレの照明も、ダウンライトから、眩しさを軽減し明るく穏やかに照らすことができるLED照明に変更され、明るく快適な空間となった。